

# 不祥事防止に向けて

## －教職員の倫理意識向上と信頼構築のために－

水戸市立鯉淵小学校

教育は、子供たち、保護者、そして地域社会からの信頼に基づいて成り立っています。教職員が不祥事を起こすことは、こうした信頼を損なうだけでなく、学校全体の信用にも影響を及ぼします。鯉淵小学校では、不祥事を未然に防ぐため、教職員の意識改革と具体的な対策を以下のように進めております。

### 1. 教職員研修の強化

本校では、教職員が不祥事を未然に防ぐための知識と意識を高めるため、研修を積極的に実施しています。

- **多様な研修アプローチ:** ボトムアップ型の自主企画研修と、トップダウン型の指導研修を組み合わせ、教職員全員が主体的に学ぶ場を提供しています。
- **ケーススタディの導入:** 実際の事例を元に、具体的な防止策を話し合うグループ討議やロールプレイングを行い、不祥事を「自分ごと」として考える機会を設けています。
- **年間計画に基づく研修:** 校内コンプライアンス委員会が中心となり、計画的に研修を進めています。

### 2. 定期的な自己点検と振り返り

不祥事を防止するためには、教職員一人一人が自らの行動を定期的に振り返ることが重要です。

- **自己点検チェックリスト:** 教職員が自身の行動や意識を定期的に見直すためのチェックリストを作成し、自己啓発を促進しています。
- **振り返りシート:** 研修後に自らの学びを振り返り、日常の実践に活かすためのシートを活用しています。

### 3. 情報共有と事例検討

教職員間での情報共有と事例の検討は、不祥事防止において欠かせない取り組みです。

- **事例共有ミーティング:** 県教委や市教委からの通知や新聞記事などを用い、教職員全員で不祥事に関する事例を共有しています。
- **リスク予防のための話し合い:** 各教職員が自校でのリスクを認識し、具体的な防止策について職員会議や研修会で討議しています。

#### 4. 教職員サポート体制の充実

教職員の心身の健康を守ることが、不祥事防止に直結すると考え、以下の取り組みを行っています。

- **個別面談の重視:** 管理職が定期的に教職員と個別面談を行い、悩みやストレスについてサポートを提供しています。
- **メンタルヘルスケア:** 定期的なメンタルヘルス研修や相談を通じて、セルフケアとラインケアの充実を図っています。
- **風通しの良い職場づくり:** 教職員が気軽に相談できる環境を整えるため、風通しの良い職場づくりに努めています。

#### 5. 学校全体の信頼向上に向けた取り組み

地域や保護者の信頼を高めるためには、教職員の人権意識と倫理観を高めることが不可欠です。

- **定期的な人権教育:** 教職員全員が一人一人の生徒を尊重し、適切に対応できるよう、人権に関する研修を定期的実施しています。
- **新しい取組としての地域連携:** 地域社会との連携を深め、信頼関係を強化するためのワークショップや交流イベントを積極的に開催しています。

---

鯉淵小学校の教職員は、一人一人が高い倫理観をもつことを大切に、日々の教育活動においてその意識を高めています。不祥事防止の取り組みは、すべての教職員が一致団結して行うべき重要な課題であり、全員が協力して取り組んでいます。私たちは、地域の皆様からの信頼を何よりも大切に、子供たちの健全な成長を支えるため、誠実な行動を心がけています。今後も、教職員全員で力を合わせ、学校全体で不祥事の防止に努めてまいります。